

2023年5月15日

各位

会社名 旭有機材株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 中野 賀津也
(コード: 4216 東証プライム)
問合せ先 管理本部 総務部長 馬崎 圭史
TEL. 03-5826-8820

通期業績予想と実績の差異および剰余金の配当に関するお知らせ

2023年1月31日に公表しました2023年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じました。また、本日開催の取締役会におきまして、下記のとおり2023年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想数値との差異について

(1) 2023年3月期通期連結業績予想と実績の差異 (2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 76,000	百万円 10,300	百万円 10,600	百万円 7,200	円 銭 375.85
今回実績 (B)	77,099	11,947	12,140	9,425	491.99
増減額 (B - A)	1,099	1,647	1,540	2,225	
増減率 (%)	1.4	16.0	14.5	30.9	
(ご参考) 前年実績 (2022年3月期)	64,732	6,575	7,012	4,773	249.21

(2) 差異の理由

売上高・営業利益につきましては、管材システム事業が予想値を上回りました。一部地域において半導体製造装置市場における需要のかけりがみられたものの、国内外の設備投資において景況感に変化はなく、樹脂バルブ等の基幹製品は半導体関連の大型物件に支えられ、半導体製造装置向けのダイマトリックス製品も販売が堅調に推移しました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記に加え、繰延税金資産を計上したことで、法人税等調整額(△は利益)は△1,143百万円となり、予想値を上回りました。

2.剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年1月31日公表)	前期実績 (2022年3月期)
基準日	2023年3月31日	同左	2022年3月31日
1株当たり配当金	40円00銭	30円00銭	35円00銭
配当金総額	774百万円	—	673百万円
効力発生日	2023年6月26日	—	2022年6月27日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、株主の皆様に対する利益配分を最重要事項の一つと認識し、業績動向、財務体質、将来のための投資に必要な内部留保等を総合的に勘案し、安定配当を確保しつつ、継続的な収益拡大の達成による増配を目指すことを基本方針としております。

このような方針のもと、将来を見据えた事業展開のための成長投資に必要な内部留保や、本日公表の2023年3月期通期連結業績が利益面で業績予想を上回ったことを勘案し、期末配当金を前回予想の1株当たり30円から10円増配し、1株当たり40円にすることといたしました。これにより、年間配当金は、1株につき10円増配の70円となります。

なお、本件は2023年6月23日開催予定の第102期定時株主総会に付議する予定です。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績	30円00銭	40円00銭	70円00銭
前期実績(2022年3月期)	25円00銭	35円00銭	60円00銭

以 上